

せみってすごい！

2022年8月4日

暑い日が続いていますが、5歳児の子どもたちは、朝から元気よく鳴いているせみに興味津々で園庭に探しに行っています。



せみを見つけた子どもたちは、「せみのおうち作ってあげよう」と箱と布を組み合わせて、ベットを作ったり、「せみさんも暑いから」とペットボトルの蓋に水を入れていたり、せみが過ごせる家を自分たちで工夫して作っていました。

なにをたべるのかな？

しかし翌日の朝せみの様子を見ると、2匹とも死んでいたことに気がきます。「なんでだろう？」「水あげたのに」とショックを受けていました。なぜ死んでしまったのか図鑑で調べていくうちに、「せみは木が好きなんや」「ちょっとしか生きられない」「かわいそう」など気付いたことや感じたことを友達と伝え合っていました。



日々子どもたちが身近な生き物に親しみをもち、興味関心を持って関わっている姿が見られます。またこのような経験を通して、命の尊さを感じ、自分自身や相手を大切に思うことへ繋がってほしいです。

やさしくね

くちがながい！



せみを観察した後は、「かわいそうやから逃がしてあげよう」とせみの気持ちを考えて、飛んでいく姿を見守っていました。